

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 035	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 ピラニカEWの花きうどんこ病に対する効果確認と登録拡大	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 イチゴでピラニカEWは、うどんこ病にも登録が取られている。 メーカーに確認したところ、当然だが、登録が採れる程度の防除価はあるとのこと。 また、既存のEBI剤などとは、作用機作がことなる、とのことである。 ピラニカEWは、ハダニ類への効果が薄くなっているが、うどんこ病にも効果があるのであれば、時期とタイミングを選べば効率的かつ低コストの防除が可能かもしれないので、できれば花卉類で登録を取って欲しい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	農業環境研究部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	基本的に殺ダニ剤であるピラニカEWの花き類のうどんこ病への効果は、花種によってうどんこ病菌の種や寄生性、特性等が異なることもあって不明確な点が多く、活性の確認が必要になるなど登録は困難と考えられます。 花き類のうどんこ病への薬剤については、日本植物防疫協会からの新農薬実用化試験の中で適当な試験があれば積極的に受託していきます。また、新たな防除法、防除資材の情報があり次第お繋ぎ致します。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			